7月　ひまわり

花言葉は「あなただけを見つめる」「愛慕」「憧れ」など、太陽に向かって咲く姿に由来。一途な愛情を表す言葉が中心

発　行　高島市今津地域住民自治協議会
事務局　今津町中沼一丁目4番地1
今津東コミュニティセンター
（今津公民館）
TEL　090-4927-3222
メール　info@imazu-jichikyo.org
ホームページ
https://www.imazu-jichikyo.org/

まちづくり計画の実現に向けスタート!

８年度定期総会

当協議会の令和8年度総会を、5月16日今津東コミュニティセンターで開催しました。

8年度計画では、今津地域まちづくり計画に添って５部会21事業に取り組むことが承認されました。当協議会は令和3年10月に発足してから4年が経過し、地域の課題に向き合い事業をすすめてきましたが、新たに策定した今津地域まちづくり計画の基本構想「湖のまち物語」の実現に向けた取り組みとして計画しました。新たな事業も加え、優先して取り組む課題を第一に考え、事業をすすめていきます。

議事をすすめる
桂田立穂さん

総会では委員から、多くのご意見、ご質問をいただきました。

【主なご意見・ご質問】

◇以前、事業の課題解決の手段の一つとして「まちづくり会社」の研究・検討がでていたと思うが、検討状況を教えてほしい。

◇各部会の事業予算の考え方はどうか。

◇レイライン推進事業の周知方法として、SNS等活用して多くの人に告知する方法が必要ではないか。

◇相談窓口事業は、機会をとらえ出向く体制で課題や意見を聞いてほしい。

◇防災は待ったなしの状況のなかで、行政も含み他の団体と連携して積極的にすすめてほしい。

◇駅前活性化プランや、まちづくりとしても重要な今津複合行政施設問題など、県や市との連携をどう考え、対応していくのか。

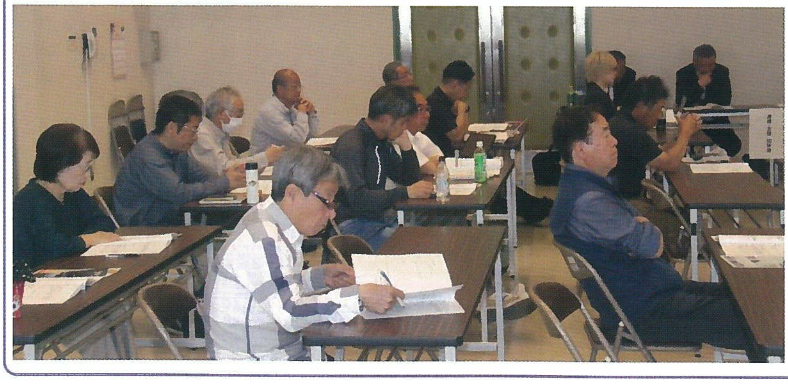
◇SNSは、自治協としても必須課題だ。発信機能を継続していくためには解決しなければ課題もある。対策を検討してほしい。

◇まちづくり計画で「街道復活」がキーワードになっているが、事業全体でどう活かし取り組んでいくのか。

◇集落支援機能が自治協に求められている。地域に根ざして連携して取り組んでほしい。

など、お聞かせいただきました。

多くの貴重なご意見をありがとうございました。これからの事業に活かしてまいります。



東コミュニティセンター内の琵琶湖周航の歌資料館案内業務を受託

～歌の魅力を伝え、伝承していく拠点に～

琵琶湖周航の歌の会

5月31日、今津東コミュニティセンターで令和8年度琵琶湖周航の歌の会総会が開かれ、8年度活動計画等が承認されました。

なかでも、東コミュニティセンター内にある琵琶湖周航の歌資料館の案内業務が、琵琶湖周航の歌の会（以下、歌の会）に委託され、来場者等への歌の伝承に、さらに力を注ぐ体制となりました。

山口知之会長は、「歌の会としてひとつの拠点ができた。資料館と一体となって企画展や歌についての勉強会、資料の研究などに取り組み、広く伝承していきたい」と話しました。

また、令和9年6月28日に琵琶湖周航の歌誕生110周年を迎えることから、次世代へ歌を継承していくために、県や市とともに記念事業を企画していきたいと語り、この機会により広く盛りあげていけるよう会員らに協力を依頼しました。

主な活動計画

- 琵琶湖周航の歌継承事業
  市教育委員会と共催して「うたつたえコンサート」などを開催
- 今津中学校で歌の伝承事業
- 今津レガッタへの協賛
- 今津壱番市や市内イベントでの広報活動
- その他

今津のまつりを応援

今津には三大祭とされる今津祭、弘川祭、川上祭が春のおとづれとともに催されます。

近年、少子高齢化等により伝統を承継していくことが難しくなりつつあるなかで、地域の活性の一助となればと、教育福祉部会では今津のまつり支援事業に取り組んでいます。

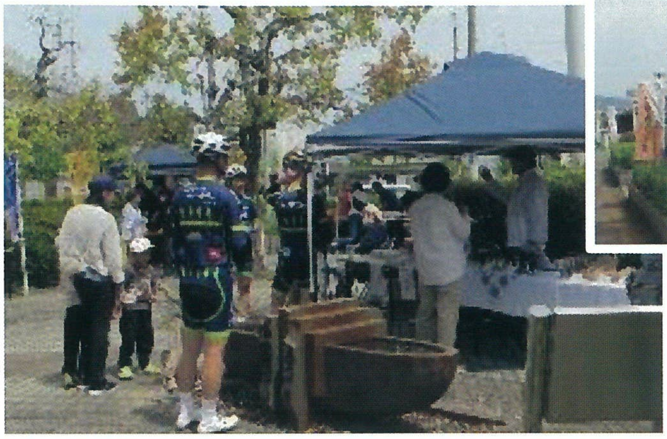
弘川祭　近江葦海太鼓を演奏

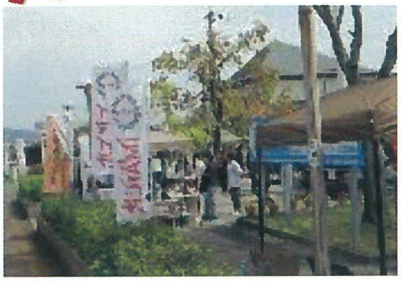
川上祭　懐かしの写真展
祭場である馬場の一角に、昔の祭風景写真を展示。

今津祭　雅楽の奏上

知ってる?街ネタ

今津壱番市





4月19日、JR 近江今津駅東側広場で、今津壱番市を開きました。

この日は好天に恵まれ、観光などで今津を訪れた方も多く、賑わいのある場となりました。新たな出店もあり、出店者同士のつながりが生まれたり、いろいろなところで交流があったりと、実りある壱番市となりました。

子どもの見守りは、地域の目

どこで何が起こるか判らないこの頃、子どもたちの安全を守るには、地域の見守りが大事です。

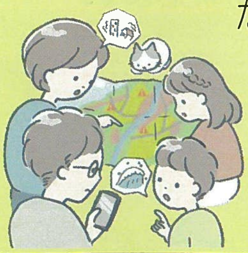
特に下校時以降の活動として、教育福祉部会の下校時の身守り活動、防災地域連携部会の子ども110番のいえ啓発活動に取り組んでいます。

地域で、できる時にできる範囲で、少し気にかけていただけることが地域の目になります。ご協力をお願いいたします。

もしも・・災害に備える
マイ・タイムラインって知ってる?

マイ・タイムラインってご存じ?
もしもの災害に備えて自分自身がとるべき行動を、あらかじめ決めたものが「マイ・タイムライン」です。

家族や地域で相談してそれぞれのマイ・タイムラインを作ってみましょう。



たとえば、水害・土砂災害だと

1. 地域の危険性を知ろう
2. 避難行動を決めておこう
3. 避難情報にアンテナを!

がポイント。

地震だと

1. 地域の危険性・地域の集合場所を知ろう
2. 日ごろの備えをしっかりと
3. 地震は初動が大事

自然災害はいつ起こるかわかりません。あらかじめ決めておくことで、あわてず逃げ遅れず、家族の安全を確保することができます。

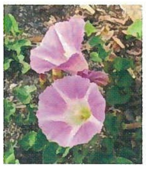
時系列に記入できる用紙もあり、一度家族や地域で話しあってみましょう。

雑談!タイム!!

月・水・金・土は、東コミセンにお立ち寄りください。おしゃべり大歓迎!! です。

ハマヒルガオを通して
びわ湖の環境学習

小・中学校と地域が連携して



海浜植物であるハマヒルガオがどうして琵琶湖岸に?

ある調査では、海岸のハマヒルガオとDNAが大きく違うものに分化していたと報告されています。それは、琵琶湖は約400年前、三重県の伊賀あたりにでき、今の場所にたどりついたのは約40万年前であるといわれ、海岸の集団から隔離され分化、進化してきたとの研究発表もあります。

この貴重なハマヒルガオは、今津浜など広く見られましたが現在少なくなっています。

琵琶湖のすばらしい自然環境を次世代につなげようと、3年前から今津地域の東、北小学校、今津中学校と連携して保全活動を継続しています。主旨に賛同していただいた環境を守るいまづの会や今津民生委員児童委員協議会、今津赤十字奉仕団、北浜区、南新保区、カームタウン区、団体などと連携し、事前準備作業や当日活動にご協力いただきました。

6月9日、今津周遊基地で両小学校・中学校の生徒ら 140 人と地域や団体からの参加者あわせて約200人が集まりました。花のピークは過ぎていたものの、地表に伸びているハマヒルガオ周辺を丁寧に除草する班、湖岸のごみ拾いをする班、講師からハマヒルガオなど今津の自然環境を学ぶ班の3班がローテーションし活動しました。

生徒らは「これ、ハマヒルガオ?」と確認しながら、除草に汗を流していました。

一緒に活動する貴重な機会に

第2回江若鉄道展を開催

7月19日~8月1日
東コミュニティセンター

第2回懐かしの江若鉄道展を、趣向を凝らし開催します。ご期待ください。　江若鉄道を語り継ぐ会

第3回 愛する今津 絵画展 作品募集!!

8月17日~30日
東コミュニティセンター

今津地域の好きな風景など募集します。詳しくは⇒

クールスポットって?

クールスポットってご存じでしょうか?

近年、災害レベルの猛暑による熱中症対策として、下校時の一時的な避難場所として事業所に協力していただいています。

青いコーンが目印です。防災地域連携部会では、子ども110番のいえとともに、協力をお願いしています。よろしくお願いいたします。

編集後記

地震大国、日本。地震速報が流れるたびに、マグニチュード慣れしている自分がどこかにいます。災害がないのはありがたいですが、他人事でいられるほど甘くはない!と。自分事として～の壁をどうするか、アドバイスを。